

### 一般質問(要旨)

**知事** 厚生連における関係市や地元医療機関などの協議を踏まえ、地域の医療機能が確保されるよう調整を図る。筑波大学附属病院には、鹿行地域での医療提供体制が確保されるよう働き掛けていく。

**議員** なめがた地域医療センターでは、本年四月から入院病床を減らすなどの検討が進められている。厚生連<sup>※2</sup>に対し医療体制の縮小・廃止の見直しを、筑波大学附属病院に対し医師派遣の引き上げの撤回を要請すべきだが、所見は。

#### なめがた地域医療センターの医療体制



**議員 山中美穂**  
民主党 鹿行市選出  
一括方式



**議員 中村修**  
民主党 鹿行市選出  
一括方式

#### いじめ防止対策

**議員** いじめ防止対策は早期発見と未然防止に尽きると考える。学校現場でどのような取り組みがなされ、新たに作成した「いじめの重大事態対応マニュアル」をどのように活用していくのか。

**教育長** 学校では互いを大切に思う人間関係づくりに取り組むほか、スクールロイヤー<sup>※1</sup>を活用した授業を実施した。また、取手市の事業で課題となった県と市の連携強化などをマニュアルに盛り込み、関係者に周知徹底を図っていく。

#### 県立消防学校の在り方

**議員** 県立消防学校は消防職団員の育成だけでなく、防災拠点としても整備が必要だが、老朽化が進んでいる。建て替えを含めた今後の在り方を、どのように構想し、実現させていくのか。

**知事** 県保有公共施設は、原則、目標使用年数を八十年としている。このため長寿命化を基本に改修しつつ、教育訓練施設と防災拠点として今後の在り方を検討していく。(ほかに、イバラキセンズによる魅力発信、高等学校を核とした小・中学校との連携なども質問)



県立消防学校(茨城町)

#### 東海第二原発の再稼働

**議員** 先般開催された新規規制基準適合性審査の説明会で、原子力規制庁は無責任な回答を繰り返した。質問も打ち切れられ、とても県民の意見を聞いたとは言えないが、今回の結果をどう受け止めるのか。

**知事** 参加者から多くの質問、意見が出され、関心の高さを改めて実感した。出された意見などを県原子力安全対策委員会の審議に反映し、安全対策に取り組みでいく。(ほかに、国民健康保険税の引き下げ、県営住宅条例の見直しなども質問)



鹿行地域の医療で重要な役割を担うなめがた地域医療センター

#### 総合がん対策

**議員** がん対策には、検診や精密検査の受診率向上が重要。また、ウィッグなどの購入費助成事業はさらなる充実が必要と考えるが、総合がん対策にどう取り組むのか。

**保健福祉部長** 検診は、引き続き普及啓発による理解促進に努め、精密検査は、目標の受診率九十%に向け対策を強化する。ウィッグなどの購入費助成を拡充し、妊よう性の温存<sup>※4</sup>は、対策を検討する。(ほかに、G20大臣会合の開催を通じた茨城の発信、タンデム自転車公道走行なども質問)



「宇宙といえば茨城」という創造拠点の形成を(JAXA提供)

#### 請願・陳情とは

県民の皆さんの要望や意見を県政に反映させる方法として、請願や陳情があります。議員の紹介のあるものを「請願」、ないものを「陳情」といいます。

請願は、委員会での審査ののち、本会議において採否を決定します。採択となったもので執行機関において処理することが適当なものについては、これを知事などに送付し、処理の経過および結果の報告を求めます。

また、本会議での採否の結果(委員会での審査で継続審査になった場合を含む。)については、請願者(請願者が複数の場合は代表者)に通知します。

陳情は、所管の委員会に参考送付され議案などの審査の際の参考に供されますが、本会議において採否は決定されません。

詳細については、県議会事務局議事課へお問い合わせ下さい。

(お問い合わせ先…電話 〇二九一三〇一五六三四)

**請願(陳情)の主な流れ**

請願書の提出 → 議長(議会事務局)が受理・文書表(一覧表)作成 → 付託 → 委員会 → 本会議へ審査結果報告 → 本会議で審議・採決 → 採択 → 執行機関へ送付(処理の経過および結果報告を要求) / 不採択 → 請願者(代表者)に審議結果を通知

陳情書の提出 → 参考送付 → 委員会



**議員 二川英俊**  
県民フォーラム 鹿行市選出  
一括方式

#### 特別な事情による予防接種の再接種費用助成

**議員** 骨髄移植などの医療行為によりこれまでの予防接種で獲得した免疫が失われ、医師の判断により再度予防接種を受ける方に対し、その費用の助成制度を導入すべきと考えるが、所見は。

**保健福祉部長** 医学的リスクの少ない方への接種となることなどを踏まえると、制度化には相当の慎重さを要すると考える。一方、再接種の助成制度を始めた市町村の考え方や、国の動向などについて、市町村との情報共有を図る。



**議員 星田弘司**  
民主党 鹿行市選出  
分割方式

#### 茨城の宇宙ビジネスの今後の展開と可能性

**議員** 本県は宇宙開発で大きな役割を果たしてきた。その強みを生かし、将来有望な宇宙ビジネスの支援に、どう取り組んでいくのか。

**知事** 昨年八月にプロジェクトを立ち上げ、機運醸成から財政支援まで総合的な取り組みを進めている。二〇一九年度は、都内でマッチングを開催するなど、参入促進とネットワーク構築を進める。また、四月にコンソーシアム<sup>※3</sup>を組織し、財政支援を拡充することで、宇宙ビジネスの創出を促進する。

#### プログラミング教育

**議員** プログラミング教育の必修化に当たり、教員の指導力向上とともに、学校や教員により格差が発生しないようにすべき。また、外部講師の協力など、より高度で充実した教育を全県的に行うべきと考えるが、今後の取り組みは。

**教育長** 外部専門家の協力を得た授業づくりや映像教材の作成とオンラインでの配信などに取り組む。企業や大学との連携を深め、専門性を有する人材の確保に努める。(ほかに、生活排水対策、上下水道の広域化・共同化なども質問)



民間企業の協力を得たプログラミング教育教員研修の様子

※1【スクールロイヤー】…いじめの予防教育や学校における法的相談への対応等を行う弁護士。  
 ※2【厚生連】…茨城県厚生農業協同組合連合会(JA茨城厚生連)の略称。土浦協同病院なめがた地域医療センターの運営主体。  
 ※3【コンソーシアム】…複数の団体や企業が集まり結成され、共通の目標を持って共同の事業などを行う組織。